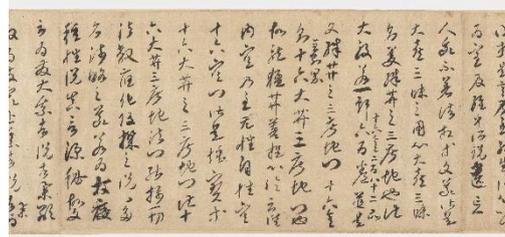


中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)								
・ I-1-(5)-① (東京国立博物館) 1)、2)、3)								
担当部課	学芸研究部列品管理課			事業責任者	課長 沖松健次郎			
【実績・成果】								
(4館共通)								
1) 国内外の博物館等119機関に999件の作品を貸与した。								
2) 文化財活用センターと東京国立博物館は共同で国立博物館収蔵品貸与促進事業を実施した。国内の博物館等7機関に68件の作品を貸与した。								
(東京国立博物館)								
1) 長崎歴史文化博物館等の平常展示のため、地域ゆかりの文化財の長期貸与を実施した。								
2) 海外の博物館等7機関に191件の作品(長期貸与を含む)を貸与した。								
3) 国内の博物館等112機関に808件の作品を貸与した。								
【補足事項】								
(4館共通)								
2) 日本およびアジアの歴史・文化への理解を進めるとともに、地方創生および観光振興に寄与することを目指し、各開催館までの往復輸送費・保険料・職員出張費等を支出する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。小規模貸与事業として島根県立石見美術館「没後150年 山本琴谷と津和野藩の絵師たち」(会期：7月8日～8月28日)に7件、市立岡谷美術考古館「天王垣外遺跡の勾玉・管玉 ～東京国立博物館115年ぶりの里帰り～」(会期：7月15日～9月18日)に13件、山口県立山口博物館「やまぐち大考古博—みよう、ふれよう、やまぐちの3000年—」(会期：7月21日～9月3日)に13件、広島県立歴史民俗資料館「三次鶴飼と日本の鶴飼」(会期：10月6日～11月26日)に5件、兵庫県立美術館「生誕180年記念 呉昌碩の世界—海上派と西冷名家」(会期：6年1月13日～6年4月7日)に8件、糸島市立伊都国歴史博物館「東西日本の弥生文化～東京国立博物館収蔵コレクションより～」(会期：6年1月27日～6年3月17日)に20件、下関市立美術館「狩野芳崖 継がれる思い～悲母観音の〈いま〉」(会期：6年2月6日～6年3月17日)に2件を貸与した。								
(東京国立博物館)								
2) リウム美術館(大韓民国)に2件、イラクリオン考古学博物館(ギリシャ共和国)に168件、故宮博物院(中華人民共和国)に9件、クリーブランド美術館(米国)に1件、湖巖美術館(大韓民国)に4件を貸与した。								
3) 中津市歴史博物館、大阪中之島美術館、明治神宮ミュージアム等の新規貸与館を含め、112機関に808件の作品を貸与した								
【評価指数】項目	5年度実績	目標値	評定	経年変化	元	2	3	4
貸与件数	999件	-	-		954	806	990	1,075
うち国内の貸与件数	808件	-	-	変	864	794	969	1,056
うち国外の貸与件数	191件	-	-	化	90	12	21	19
【年度計画に対する総合評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評定：B	国内の博物館等の112機関に808件、海外の博物館・美術館の7機関に191件の収蔵品(長期貸与を含む)を貸与し、国内外の展覧会の開催に協力した。特に、イラクリオン考古学博物館への貸与は、コロナ禍で中断していた海外展として当館とギリシャ文化スポーツ庁が主催した展覧会に、縄文時代から古墳時代の考古遺物の優品を一挙に紹介すべく貸与を行った。							
	貸与促進事業は、7機関に68件の収蔵品貸与を行い、各地域ゆかりの文化財の展示に貢献した。							
【中期計画記載事項】								
収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評定：B	中期計画に基づき、国内外の博物館等の出品要請に応じて、貸与を実施した。							
	6年度以降も文化財活用センターとの連携を深めるとともに、有意義な展覧会に貸与を実施し、国内外の博物館活動に寄与できるよう、協力依頼に積極的に応じる。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)、(京都国立博物館) 1)								
担当部課	学芸部	事業責任者	列品管理室長 永島明子					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内68機関、国外2機関（機関は延べ件数）に対し、計328件の収蔵品を貸与した（館蔵品：180件、寄託品：148件）。 2) 328件のうち、5年度国立博物館収蔵品貸与促進事業での収蔵品貸与6件である。  (京都国立博物館) 1) 京都国立近代美術館の平常展示のため、引き続き館蔵品を8件長期貸与した。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品の貸与に際しては、貸出先の保管、警備体制、虫害対策、展示環境等を総合的に判断しながら、貸出先の要望に応じた。								
								
琥珀天目（鸞天目） 吉州窯			法花蓮池水禽図壺			青花山水文方盤		
国外（サンフランシスコ・アジア美術館）へ貸与した作品								
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
貸与件数	328件	-	-	年	348	286	314	263
うち国内の貸与件数	310件	-	-	変	347	286	314	263
うち国外の貸与件数	18件	-	-	化	1	0	0	0
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 年度計画に基づき、収蔵品の状態と貸出先の環境を勘案しながら、国宝・重要文化財を含む収蔵品を、国内の博物館に貸与した。5年度はサンフランシスコ・アジア美術館の「陶磁器にみる日本人の中国趣味」、「禅の心」への出陳を目的に、18件の作品貸与を行った。国内のみならず海外への協力を行うことができたため、B評価とする。						
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保存状態や展示期間を十分に考慮した上で、貸出先の保管・展示環境も勘案し、可能な範囲で要請に応じており、中期計画を順調に遂行できている。更に新型コロナウイルス感染症の影響により中断していた海外への収蔵品貸与については、慎重な協議を重ねたうえで、5年度は実施することができた。6年度以降も可能な限り要請に応じて協力していくことで、国内外へ日本の歴史・伝統文化の発信に努めていきたい。						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 吉澤悟					
【実績・成果】 (4館共通) 1) 収蔵品と寄託品を国内合わせて27の機関に計125件の貸出を行った。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品・寄託品の貸与 ○貸与先27件の内訳： 国立4件、公立18件、私立4件、海外1件 ○貸与作品125件の内訳： ・ 国宝12件（館蔵品5件、寄託品7件） ・ 重要文化財41件（館蔵品10件、寄託品31件） ・ その他72件（館蔵品35件、寄託品37件） 貸与した館蔵品50件の内訳： 絵画16件、彫刻3件、書跡6件、工芸11件、考古14件 貸与した寄託品75件の内訳： 絵画25件、彫刻32件、書跡6件、工芸10件、考古2件								
2) 文化財活用センター経由での収蔵品貸与希望はなかった。								
写真上：香川県立ミュージアム特別展「空海―史上最強、讃岐に舞い降りた不滅の巨人」貸与、 国宝 金剛般若経開題残巻								
写真下：徳川美術館特別展「大蔭絵展―漆と金の千年物語」貸与、 国宝 蓮唐草蔭絵経箱								
【定量的評価】								
項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
貸与件数	125件	-	-		136	107	252	113
うち国内の貸与件数	119件	-	-		133	107	252	113
うち国外の貸与件数	6件	-	-		3	0	0	0
【年度計画に対する総合評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 ここ数年の貸与件数と比較して同等の件数ではあるが、国宝12件、重要文化財41件が貸し出されるなど、各地で開催された展覧会へ大いに寄与し、また海外への貸与も行われた。以上より、年度計画を遂行できたと判断し、B評価とした。					
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 貸与希望機関の要望にできる限り応じつつ、作品のコンディションも保持するため、貸与が難しい作品については代替作品等の提案を行い、また先方の展示・収蔵環境の改善についてアドバイスを行うといった条件を付した上で貸し出しを許可するなど、柔軟な対応を行った。各地の展示施設の展覧会の実施に貢献することができ、着実に中期計画を遂行したといえるため、B評価とした。					



中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与								
【年度計画】	・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2) ・ I-1-(5)-① (九州国立博物館) 1)								
担当部課	学芸部文化財課	事業責任者	課長 野尻忠						
【実績・成果】	I-1-(5)-① (4館共通) 1) 国内延べ23機関に延べ125件の収蔵品、海外延べ2機関に延べ7件を貸与した。(東京国立博物館からの長期管理換品を含む。巡回展等で複数館に貸与した場合は、それぞれ機関数と収蔵品件数をカウントしている。) ・ 所蔵品の貸与件数：延べ67件 (うち国宝3件、重要文化財14件、重要美術品2件) ・ 寄託品の貸与件数：延べ65件 (東京国立博物館からの長期管理換品を含む。うち重要文化財1件、登録美術品55件) (独立行政法人国立文化財機構規定第63号「美術品の美術館における公開の促進に関する法律に基づく美術品の受入れに関する規定」に基づき、登録美術品を寄託品として扱った。) 2) 文化財活用センターが実施する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」における貸与はなかった。 I-1-(5)-① (九州国立博物館) 1) 福岡県内の延べ5機関に延べ14件の収蔵品を長期貸与した。								
【補足事項】	貸与先機関と貸与件数は下記のとおりである。 1) 国内の貸与先機関 ・ 国立機関 東京国立博物館9件 (2件〈4年度から5年度にかけて貸与。台東区立書道博物館と共催〉/7件)、国立アイヌ民族博物館1件、文化庁1件 ・ 地方公共団体及び公立博物館・美術館 (福岡県内) 甘木歴史資料館3件 (長期貸与)、伊都国歴史博物館3件 (長期貸与)、小郡市埋蔵文化財センター5件 (長期貸与)、求菩提資料館2件 (長期貸与)、福岡市美術館3件、大野城心のふるさと館9件 (福岡県外) 山梨県立博物館6件 (4年度から5年度にかけて貸与)、台東区立書道博物館2件 (4年度から5年度にかけて貸与。東京国立博物館と共催)、野洲市歴史民俗博物館1件、和泉市久保惣記念美術館1件、鳥取県立博物館4件、佐賀県立名護屋城博物館8件、都城島津邸2件、那覇市立壺屋焼物博物館2件、延岡城・内藤記念博物館58件、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館1件、くまもと歴史・文学館 (熊本県立図書館) 1件 ・ 私立博物館・美術館及び私立団体 公益財団法人古都大宰府保存協会大宰府展示館1件 (長期貸与)、サントリー美術館2件 2) 海外の貸与先機関 韓国・国立金海博物館4件、韓国・三星文化財団 (湖巖美術館) 3件								
									
	国宝 桜花物語 (東京国立博物館へ貸与)								
【定量的評価】	項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
	貸与件数	132件	-	-		50	36	132	128
	うち国内の貸与件数	125件	-	-	変	44	35	130	128
	うち国外の貸与件数	7件	-	-	化	6	1	2	0
【年度計画に対する総合評価】	評価：B	【判定根拠、課題と対応】 4年度と同水準の貸与先件数・収蔵品貸与件数となった。ColBaseや当館所蔵品データベースの拡充に伴い、貸与申請機関が自らの展覧会趣旨に応じた所蔵品選定が可能になり、各機関の展覧会の充実化に貢献できた。国外への貸与も2年ぶりに実施した。また、福岡県内の博物館・資料館への長期貸与を行い、福岡や九州ゆかりの文化財が持つ魅力の地域への発信に寄与することができた。 以上の成果から、B評価とした。							
【中期計画記載事項】	収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】	評価：B	【判定根拠、課題と対応】 当館博物館科学課環境保全室とともに貸与申請機関の状況等を総合的に勘案して、適切に貸与を実施した。当館収蔵品の貸与を通じて、国内外の博物館・美術館の展覧会の充実化に大きく寄与することができた。また、県内あるいは九州島内の博物館・資料館への貸与等を通じて、各博物館・美術館の展覧事業に協力することができ、地域ゆかりの文化財の魅力発信に寄与することができた。 6年度も引き続き、国内外への収蔵品貸与を通じて、当館の収蔵品の魅力を広く発信していく。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (皇居三の丸尚蔵館) 1)								
担当部課	管理・情報課	事業責任者	管理・情報課長 五味 聖					
【実績・成果】 令和5年度は、以下の展覧会を地方展開として実施した。 ・ 石川県立美術館・国立工芸館：皇居三の丸尚蔵館収藏品展「皇室と石川―麗しき美の煌めき」 (10月14日～11月26日) 貸与件数 91件 (うち国宝4件) ・ 茨城県陶芸美術館：「皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展」(9月16日～12月10日) 貸与件数75件 また、地方展開のほか8件の博物館・美術館へ、11件貸与を行った。								
								
石川県立美術館での開会式			茨城県陶芸美術館での展示風景					
【補足事項】								
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
貸与件数	177件	-	-	-	-	-	-	-
うち国内の貸与件数	177件	-	-	-	-	-	-	-
うち国外の貸与件数	0件	-	-	-	-	-	-	-
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 宮内庁から機構へ移管された10月以降、177件の作品を貸与した。特に地方展開では、3機関に166件の収藏品を貸与した。当館の収藏品を地方館で展示することにより、皇室文化の理解促進と地方館との交流を促進した。特に石川県での開催は、石川県立美術館及び国立工芸館と連携し、国民文化祭の一環として実施した。当館の開館記念展と同時期でありながら国宝4件を含む91件を貸し出し、およそ5万人が来館した。							
【中期計画記載事項】 収藏品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 今後も地方の博物館の要請に応じて、令和7年度まで当館の収藏品による地方展開を年間4か所以上で開催し、地方の活性化に寄与する予定である。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I-1-(5)-② (5館共通)</li> <li>・ I-1-(5)-② (東京国立博物館)</li> </ul>								
担当部課	学芸研究部	事業責任者	部長 河野一隆					
【実績・成果】								
(5館共通)								
<p>1) 公立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、168件の援助・助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力 75件</li> <li>文化庁、福岡市美術館、岡山県教育委員会、東京都立上野高校、国立アイヌ民族博物館 ほか</li> <li>・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 23件</li> <li>京都市京セラ美術館、江戸東京博物館、アーティゾン美術館 ほか</li> <li>・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 15件</li> <li>林原美術館、島根県教育委員会、石山寺、法隆寺 ほか</li> <li>・ 講演・セミナー・審査等での協力 36件</li> <li>国立アトリサーチセンター、国立民族学博物館、一般社団法人照明学会、神奈川県立歴史博物館 ほか</li> <li>・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 19件</li> <li>茨城県立歴史館、東京学芸大学、国立国際美術館 ほか</li> </ul> <p>3年度より新たに保管文化財に対する特殊な機材を用いた計測、非破壊による材質・成分等の調査、その他、特別観覧に該当しない撮影による調査等の外部からの調査協力依頼に対し、調査協力をする事業を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京国立博物館保管文化財の調査協力 4件 (件数については参考値とし、援助・助言件数には含めない)</li> <li>沖縄県土木建築部首里城復興課、鹿児島大学総合研究博物館、千葉大学他</li> </ul> <p>(東京国立博物館)</p> <p>1) 新規貸与館に対する環境調査を実施し、指導助言を行った。</p> <p>環境調査を実施した新規貸与館は、9館。(参考：文化財活用センター貸与促進事業関係 2件)</p>								
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
援助・助言等の件数	168件	-	-		139	78	98	122
【年度計画に対する総合評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評価：B	<p>5年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行したことも影響し、援助・助言の件数が増加した。例年通り、公私立博物館・美術館で開催される展覧会や運営等についての援助や助言、新規貸与館への環境調査を適切に行うことができた。</p> <p>また、3年度より開始した公私立博物館・美術館、大学、その他研究機関の要請に応じた保管文化財の調査協力も引き続き行うことができた。</p>							
【中期計画記載事項】								
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。								
【中期計画に対する評価】	【判定根拠、課題と対応】							
評価：B	<p>中期計画の3年目となる5年度は、4年度に引き続き、技術的・専門的な援助・助言を適切に実施することができている。また、3年度より開始した外部からの調査協力についても、適切に実施することができている。</p> <p>6年度以降も、これまで同様積極的に対応し、文化財の保存活用に寄与していきたい。</p>							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)、(京都国立博物館) 1)、2)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 尾野善裕					
【実績・成果】								
(5館共通)								
1) 行政、公私立博物館等の各種委員等への就任などを含め、博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を141件実施した。								
・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）								
文化庁文化審議会（文化財分科会）など官公庁の各種委員会への助言・協力								
京都府、滋賀県、奈良県、三重県、富山県、大阪市など地方公共団体の文化財保護審議会委員等として助言など								
・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言								
林原美術館、永青文庫などの国内の博物館・美術館等への展示助言など								
・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導								
重要無形民俗文化財に係る復元事業への協力（材料調査；犬山祭）、古墳壁画保存活用検討会（材料調査班）、「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（材料調査班）専門委員として協力など								
・ 講演・セミナー・審査等での協力								
京都大学、京都工芸繊維大学、神戸大学、立命館大学、國學院大學など、大学の非常勤講師として協力など								
・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言								
京都国立近代美術館、兵庫県立人と自然の博物館への協力など								
国際研修としてUNESCOチェアITC-DRMCHに協力し、京都国立博物館の展示・収蔵環境、減災対策などの安全対策への取り組みについて情報発信を行った。また清水寺と保管環境に関する調査・研究について連携研究を開始した。文化財資料の保管環境に関する助言として、5年度は立像1軀について転倒防止対策に関する研究を実施し、社寺等への助言を行った。								
(京都国立博物館)								
1) 畠山記念館の建て替え工事に伴い、同館収蔵品を引き続き一時保管するとともに、一部を特集展示等に活用した。								
2) 大阪市立美術館の改修工事に伴い、同館収蔵品を引き続き一時保管するとともに、一部を特集展示等に活用した。								
【補足事項】								
・ 文化財の展示・保管環境に関する指導・助言：知恩院、清水寺								
・ 文化財の展示・保管環境・安全対策に関する講演・研修などでの協力：UNESCOチェアITC-DRMCH								
・ 文化財の調査・修理に関する指導・助言：京都府、染技連、名古屋市、四万十市、四天王寺								
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
援助・助言等の件数	141件	-	-		152	137	129	131
【年度計画に対する総合評価】				【判定根拠、課題と対応】				
評価：B				国内の様々な機関の要請に対し、職員が各々の専門性に応じて、141件の援助・助言・指導及び協力を行った。				
				国際研修 UNESCOチェアITC-DRMCHは、対面による講義形式となり、実際の博物館設備等に接しながら、京都国立博物館の防災対策を海外を含む研究者へ向けて発信ができた。研究者からは、文化財防災の次の研究事業として進めている仏像の転倒シミュレーションの一般利用に向けた取り組みについて賛同する意見が多かった。				
【中期計画記載事項】								
国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】				【判定根拠、課題と対応】				
評価：B				援助・助言等の件数としてはコロナ禍前と同等程度の水準の要請に応じることができており、中期計画を順調に遂行できている。				
				文化財防災センターとの連携協力を図るとともに、当館の防災対策の取り組みについても、国内外研究者との情報交換・人的交流を通じて広く発信していく。さらに社寺等との連携によって得られたデータから、保管環境や減災対策に関する基礎的研究を継続し、簡便に実施できる防災・減災対策について検討していく。				

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 ・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 吉澤悟					
【実績・成果】 1) ・援助・助言を65件実施した。 ・以下の展覧会に学術協力として援助・助言を行った。 東北歴史博物館 東日本大震災復興祈念 特別展「悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」4月15日～6月11日 韓国・三星文化財団リウム美術館 特別展「東アジアと女性と仏教展」6年3月4日～3月31日 大阪中之島美術館 特別展「醍醐寺展」6月15日～8月25日 石川県立美術館 特別展「まるごと奈良博展」6年7月6日～8月25日								
【補足事項】 以下のとおり、援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に対する助言・協力 19件 奈良県、文化庁、宮内庁、鳥取県、三重県、山口市教育委員会ほか ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 4件 東北歴史博物館、石川県立美術館、大阪中之島美術館、韓国・三星文化財団リウム美術館 ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 12件 法隆寺金堂壁画保存活用委員会、国宝智証大師関係文書典籍保存活用専門委員会ほか ・講演・セミナー・審査等での協力 17件 奈良女子大学、京都府立大学、神戸大学ほか ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 13件 大和文華館、松伯美術館、日本工芸会ほか								
								
東北歴史博物館特別展「悠久の絆 奈良・東北のみほとけ」開幕式				泉屋博古館所蔵品の調査風景				
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評定	経年変化	元	2	3	3
援助・助言等の件数	65件	-	-		66	50	68	67
【年度計画に対する総合評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 国内外の様々な博物館・美術館の要請に対し、近年の水準と比較して遜色のない件数に応じることができた。特にコロナ禍で中断していた海外機関への文化財貸与再開や、当館で企画した館蔵名品展を外部機関で開催するという新しい試みを推進するに伴い、各方面への援助・助言を積極的に行った結果、着実に年度計画を実行できたため、B評価とした。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】 評定：B	【判定根拠、課題と対応】 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の5類移行に伴い、対面式による交流の制限が緩和されたことから、国内外の博物館や地方公共団体の要請に応じ、4年度と同程度以上の件数の指導・助言を行うことができた。この点から中期計画を遂行できたと判断する。今後も現地に赴いて直接展示指導や助言を行うとともに、引き続きウェブ会議システムを活用することで、国内外の館に対し効果的な指導・助言を行っていきたい。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】	・ I-1-(5)-② (5館共通) 1) ・ I-1-(5)-② (九州国立博物館) 1)、2)、3)							
担当部課	学芸部		事業責任者	部長 白井克也				
【実績・成果】	(5館共通) I-1-(5)-② (5館共通) 1) 以下のとおり、公立の博物館・美術館等に対する援助・助言を行い、年度計画どおり事業を実施できた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化庁、地方公共団体、公立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）(32件)</li> <li>・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 (0件)</li> <li>・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 (1件)</li> <li>・講演・セミナー・審査等での協力 (27件)</li> <li>・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 (3件)</li> </ul> I-1-(5)-② (九州国立博物館) 1) 「古文書保存基礎講座」 文化財保存普及のための講座及び研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2年度以来中止していたが、5年度再開することができた。 開催日：5月25日～26日 主催：当館、福岡県教育委員会、筑紫野市歴史博物館 協力：国宝修理装演師連盟 内容：福岡・九州地方を中心とした全国の博物館・美術館・文化財関連機関における古文書等の担当者を対象に、文化財の保存修理や古文書の整理法に関する講義（於：当館）と、修理理念に基づいた応急修理の実習（於：筑紫野市歴史博物館）を行った。 2年度以前は例年1月に寒糊炊きと併せて実施していたが、5年度は当館の修理事業計画の遂行に支障の無い時期を勘案し、春季の開催とした。 (受講者24人/応募者54人より選考)							
								
					古文書保存基礎講座（応急修理の実習）			
								
					IPM研修（害虫同定実習）			
	2) 全国の博物館・美術館等職員等向け「IPM（総合的有害生物管理）研修」 上記と同様に2年度以来中止していたが5年度再開することができた。 開催日：10月19日～20日 内容：講義のほか、実物の文化財害虫を用いた害虫同定、トラップ調査データ分析、作品に応じてグループで殺虫法を考える実習などを行った。（受講者32人/応募者152人より選考）							
	3) 「福岡県内公立博物館・美術館等職員向け展示研修」 大野城市こころのふるさと館と連携し、県内の展示担当者に向けた研修を特別展の展示会場を活用して行った。各施設によって展示ケースや演示具、照明器具などの条件が異なる中、より良い展示を行うにあたっての工夫や考え方など、当館での展示を例に研修した。 開催日：5月22日 内容：作品の形態や素材、どう見せるかによって演示具の工夫をしたり、ケース内外の照明を組み合わせることでわかりやすく効果的なライティングを行うなど、特別展「アール・ヌーヴォーのガラス - ガレとドームの自然賛歌 -」展示会場にて実際の展示を見ながら具体的な解説を行った。（受講者15人）							
【補足事項】								
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
援助・助言等の件数	63件	-	-		86	81	77	97

<p>【年度計画に対する総合評価】          評価：A</p>	<p>【判定根拠、課題と対応】          新型コロナウイルス感染症拡大のため、しばらく実施できていなかった実習形式の研修2つを5年度は再開することができた。多くの受講希望があり、IPM研修の受講者のアンケートでは、5段階評価のうち、「5.とても良かった」が84%、「4.良かった」が13%であり、合わせると97%が「4.良かった」以上の評価となり、きわめて満足度の高い研修を行うことができた。また古文書研修においても、全員が「今後も必要な研修である」と回答し、満足度の高さを窺わせた。以上から計画を上回る成果であったと判断しA評価とした。</p>
<p>【中期計画記載事項】          国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。</p>	
<p>【中期計画に対する評価】          評価：A</p>	<p>【判定根拠、課題と対応】          国内の博物館等の要請に応える形で、資料管理の実務を座学と実習の両面から学べる研修を実施することができた。上記のようにアンケート結果からも受講者の満足度が非常に高いことがわかり、研修のプログラムとしてひとつのあるべきひな型を示すことができた。以上のことから中期計画以上の成果が得られていると判断し、A評価とした。今後は、問題が起きたときの対処法を含め、理念と実践分野のバランスがとれた公私立博物館・美術館職員等のニーズに合った研修の実施を目指したい。</p>

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)								
担当部課	総務課 調査・保存課			事業責任者	総務課長 井手 真二 調査・保存課長 高梨 真行			
<p>【実績・成果】 (5館共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政機関や公私立博物館、教育委員会等の各種委員への就任を含め、文化財関係事業に関する助言・協力を行った。</li> <li>・ 宮内庁や文化庁の調査研究への協力や修理に対する指導・助言を行った。</li> <li>・ 石川県、茨城県において地方展開として当館収蔵品の展覧会を開催し、展示における指導・助言を行った。</li> <li>・ 新規に開館した施設として、公私立博物館等を含む関係各所から、施設のリニューアルの考え方や設備に関する視察・意見交換等に対応した。また、北米・欧州・台湾等の国外の美術館の日本美術専門家による視察を受入、展示や修理に関する意見交換を行った。</li> </ul>								
								
石川県（国立工芸館）での作業								
【補足事項】 九州国立博物館との展示設備やIPM(総合的有害生物管理)に関する意見交換など、機構の館との連携を強化した。								
【定量的評価】項目	5年度実績	目標値	評価	経年変化	元	2	3	4
援助・助言等の件数	38件	-	-		-	-	-	-
【年度計画に対する総合評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 公私立館等からの問い合わせに適切に対応した。日本博物館協会や全国美術館会議にも加盟し、人的ネットワークの形成に努めた。 また、ICOMに館として加入するなど、国際機関と連携を推進した。 新規に開館した施設として取材や視察に可能な限り対応し、意見交換等により機構内外の博物館活動への寄与を行った。					
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。								
【中期計画に対する評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに機構内外の専門家と情報交換を推進し、着実に人的ネットワークを形成している。今後も当館の専門性を生かし、国内外の博物館活動への寄与を行う。					